（別紙4（2））

事業所 北ながはまグループホーム

目標達成計画

作成日： 令和 元年 8月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念について掲示を行い、朝礼での唱和により周知を行っているが、事業所によっては入居者の状態や地域性が異なることから、事業所独自の理念や方針を掲げられていない。	法人理念を踏まえた事業所独自の理念や方針を掲げ、方針に基づいた地域密着サービスが提供できるように取り組む。	これまで行ってきた日々のサービスから、事業所として取り組んできたことや更にステップアップしないといけない項目を洗い出し、事業所独自の理念や方針を策定する。	1ヶ月
2	54	入居時に馴染みの物の持ち込みを家族様に提案しているが、馴染の物や使い慣れた物の持ち込みが少ない。	家族様に馴染みの物、使い慣れた物をなるべく持ち込んでいただくようにし、認知症ケアには大切である旨を理解していただくように取り組む。	ご本人のお気に入りの物、使い慣れた物があると安心される点を家族様に説明する。面会時に再度、生活歴等をヒアリングし、馴染の物を持って来てもらえるように取り組んでいく。	2ヶ月
3	2	地域行事への参加や交流はあるが、事業所行事に地域住民が参加する機会が設けられていない。	事業所行事に地域住民が参加できるように地域への情報発信を行い、交流が深められるように取り組む。	事業所の情報を地域住民に発信できるように回覧板等を活用し情報発信を行う。	3ヶ月
4	23	入居後に知り得た利用者情報が個別にまとめられていない。	入居後に知り得た情報を整理し、記録に残すことによって、情報共有がしやすいように取り組む。	個々の生活歴や想いを再度整理し、一元的に把握・更新できるようにする。	3ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。